

## タンザニア共和国ウガラ地域活動報告

### 「タンザニア共和国ウガラ地域における監視小屋建設計画」

#### 背景

チンパンジー分布域の東限にあたるウガラ(ニエンシ)地域では、近年活発な人間活動に拍車がかかり、チンパンジーだけでなく貴重な動植物の減少が顕著になりつつある。その過酷な環境ゆえに一時は無人化した原野も、不法な樹木伐採、新たな農耕地の開墾、密猟、それらに伴う野火の発生などが頻繁に見られる。これらの活動はいずれも違法行為であり、それを阻止するための本格的かつ火急な監視体制の実現が必要である。

#### 2008年活動報告

現在、ウガラ地域のングウェ地区に監視小屋を建てるための準備を進めている。本年は、建設資材の購入、建設予定地への資材運搬をはじめた。資材はングウェ地区の近隣の町 Uvinza や Kazulaminba、Kigoma で現地アシスタントと共に入手した。資材搬入では、悪路でトラックの運行が比較的困難ではあったが、現地の人々の協力により遂行された。



監視小屋建設予定地



壁を作るときに使用するレンガ

同時に、この地区を管轄している Kigoma の事務所へ出向き、関係者に直前におこなった最新の現地状況調査の結果を交え、監視システムの理解を仰いだ。監視スタッフのトレーニングをおこない、最初のトレーニングを受けたメンバーが新人をトレーニングすること、トレーニング終了後には証明カードを発行することなどのアドバイスをもらった。

今回おこなった現地状況の調査では、建設予定地に隣接してキャンプサイトを設け、ングウェ地区の人による最近の利用状況を調べた。キャンプキーパーはキャンプ地の近くを通る人の有無を約1ヶ月間記録し、その内15日以上で町から訪れる人を目撃、もしくは町から来た人の声を聞いた。森を踏査しているときには、大量の伐採木を運搬している人達に3度遭遇、使用中のキャンプ地を2箇所目撃した。伐採木の運搬者は、町の警察の目を逃れるため、夜間に Uvinza の町に到着



不法伐採者のキャンプ地



伐採木を板に加工した後の残骸  
(良質な部分だけ板に加工される)

するよう計算し森を夕刻に出発し帰る者もいた。切り株に加え、一時的に組まれ作られる板の加工場、そこに散在した不要とされた材木の残骸も度々目撃した。

ングウェ地区は町から比較的近いところに位置しており、警察の目の届かない森の中で伐採が頻発している。監視小屋の建設、スタッフの常在を実現し、監視の目を働かせる体制を整えることが急がれる。

## ウガラ収支報告書

### 円会計

#	日付	項目	入金	出金	備考
1	2008.6.13	JMC より振込み	1,900,000		
2	2008.6.18	ドルへ換金 (キャッシュ)		1,000,000	ドル#1 へ
3		次年繰越金		900,000	
合計			1,900,000	1,900,000	

### US ドル会計(単位 \$)

#	日付	項目	入金	出金	備考
1	2008.6.18	円から換金 (キャッシュ)	9,016		円#2 より
2	2008.6.23	ドルキャッシュを Tsh へ換金		9,016	
3		次年繰越金		0	
合計			9,016	9,016	

### タンザニア・シリング会計(単位 Tsh)

#	日付	項目	入金	出金	備考
1	2008.6.23	ドルから換金	10,638,298		\$ #2 より
2	2008.7.30-2008.8.1	監視小屋・建設資材費		7,440,000	
3	2008.8.2	監視小屋・資材運送費		2,125,000	
4	2008.7.30-2008.8.2	人件費 (運送、資材購入補助)		1,065,000	
		次年繰越金		8,298	
合計			10,638,298	10,638,298	